

和算叢書

関流算法草術

二奴2

708

8





門二 2  
號  
卷





關漢子法第術

差分身を

中三

澤言を信自在一人多し中五信有

下乃事非何程也

善の上夜銀其より

中武

澤言月五上中下之ふに法身三の程あり  
中一十の石澤其程同

術戴

存銀

銀

上下各







高  
一書或九方  
二書或九方  
三書或九方  
四書或九方

波江百九移少  
有夫人  
らる女  
或九方  
一書或九方  
二書或九方  
三書或九方  
四書或九方  
五書或九方  
六書或九方  
七書或九方  
八書或九方  
九書或九方

高  
一書或九方  
二書或九方  
三書或九方  
四書或九方

高  
一書或九方  
二書或九方  
三書或九方  
四書或九方

高  
一書或九方  
二書或九方  
三書或九方  
四書或九方  
五書或九方  
六書或九方  
七書或九方  
八書或九方  
九書或九方







此言二百箇の字をいふは、  
裏よりして一箇の字は、  
及名何れに同

意

張九卷二百箇の字をいふは、  
此れは、  
及名何れに同

一書  
二書  
三書

四書  
五書  
六書

張九卷二百箇の字をいふは、  
此れは、  
及名何れに同

意

此二百箇の字をいふは、  
裏よりして一箇の字は、  
及名何れに同



意

人殺し人有才正毒を能く白目才は毒  
の毒部九折目は才の同毒九折目は毒部  
高何程と問

意

國流美法者漸

差分牙外

今は人々分を能く有り一毒は毒の名部  
和して或は。亦く。必らずも和をく毒  
一毒は毒部九折目は才の同

意  
一毒は毒部九折目は才の同  
二毒は毒部九折目は才の同



今良人の分跡あり二書ニある跡和して  
或は下如共く有る分の元如共くあり  
に或るる跡及有るる跡何れも同

意  
一ある如共く 二ある如共く  
三ある如共く 四ある如共く

今七ッ入り有る一書代跡を如共く六書代  
跡八如共く但し分は元々一書代跡何れも同  
一書ニ如共く 二書ニ如共く

意  
二書ニ如共く 三書ニ如共く  
四書ニ如共く 五書ニ如共く  
六書ニ如共く 七書ニ如共く

今七ッ入り有る一書二書の代跡合て如共く  
三書七書の代跡合て九如共く但し元  
日元々一書の代跡及有る跡何れも同  
一ある如共く 二ある如共く  
三ある如共く 四ある如共く



六書の如きなり 六書の如きなり  
七書の如きなり

教知 所和 十一

今六ツノ子有一書の付法百或地なり  
今六ツノ子有一書の付法百或地なり  
今六ツノ子有一書の付法百或地なり  
今六ツノ子有一書の付法百或地なり

一書百千者 二書百三者  
一書百千者 二書百三者  
一書百千者 二書百三者  
一書百千者 二書百三者

一 二 三 四 五 六 七

今七ツノ子有一書二書三書四書五書六書七書  
今七ツノ子有一書二書三書四書五書六書七書  
今七ツノ子有一書二書三書四書五書六書七書  
今七ツノ子有一書二書三書四書五書六書七書

一書百千者 二書百三者  
一書百千者 二書百三者  
一書百千者 二書百三者  
一書百千者 二書百三者

一 二 三 四 五 六 七



今七ツノ子カハ只云ニ番ニ番の代治合  
ニ番カク又云五番七番七番の代治合  
白五番目但ハ牙因番ヤ名付治治宛南  
一ある女カク 二ある女カク  
ニある女カク 四ある女カク  
五ある女カク 六ある女カク  
七ある女カク

三  
二  
一

今八ツの代治一番ニ番ニ番の代治合  
七番七ト七番七番七番の代治合  
七番七ト七番七番七番の代治合

一ある女カク 二ある女カク  
三ある女カク 四ある女カク  
五ある女カク 六ある女カク  
七ある女カク 八ある女カク

三  
二  
一



今六の位有且云二書二番の成跡合く  
多き下一布又云四書かあるあはれ  
今一書分二下一茶片云一燈塔よりして  
名代給約後と向

- 一書五下布二書六下
- 二書七下 一書九下
- 三書五下 二書六下

只又八十四

今六の位有且云二書二番の成跡合く  
多き下一布又云四書かあるあはれ  
今一書分二下一茶片云一燈塔よりして  
名代給約後と向

部二有八批有者上中下三人よりして  
中一和布有者一中下二和布有者  
中一和布有者及右付和布と向

- 三書上而二物目
- 下而四物目
- 中而和布

田八十三 銀路三

部二有八批有者上中下三人よりして  
中一和布有者一中下二和布有者  
中一和布有者及右付和布と向







意

世ヨ  
十  
二  
三

近世の七族九分をき下と上と下と之に  
よるる上六人教之人中八或人下八は人之  
又云上六人教之人中八或人下八は人之  
中少中三人の五族を下一人の族は  
中少上三人及上中三人の五族は高

上三人の五族之族をき下  
高中三人の五族之族をき下  
下三人の五族之族をき下

世ヨ  
二  
三  
四

三番六人教之人中八或人下八は人之  
中少中三人の五族を下一人の族は  
中少上三人及上中三人の五族は高  
中少上三人及上中三人の五族は高



かゝる遺言は其人の元氣衰へたるを  
しるすに由りて何れと云

善  
甲二人  
乙三人  
丙四人  
丁七人  
戊九人

十  
八  
段  
敷

深百歩地をりり上下或は  
ふし紐上を紐に三人を来り  
下を紐に一人を来り其の  
上二番下一番取付因縁あり  
其書の上は七何れと云

善  
三  
五  
二







張るる白紙の首を人々に示し一書  
或書は九月坊二書は二月坊  
あり二書は二月坊あり二書は二月坊  
二書は二月坊あり二書は二月坊

二書は二月坊あり二書は二月坊

二書は二月坊あり二書は二月坊

二書は二月坊あり二書は二月坊

*[Faint bleed-through text from the reverse side]*

國院法華經

卷分第三 卒

張るる白紙の首を人々に示し一書  
或書は九月坊二書は二月坊  
あり二書は二月坊あり二書は二月坊  
二書は二月坊あり二書は二月坊

法  
Bpoh

張るる白紙の首を人々に示し一書  
或書は九月坊二書は二月坊  
あり二書は二月坊あり二書は二月坊  
二書は二月坊あり二書は二月坊



五律及名何種の同

意

辛 上 中 下 自二初

根に九律目を幾人ならし上の五律に  
の二をわし五律と全の五律何種を同  
意

辛 上 下 上始

浪は波も或時ありて人の心も上の五律に  
の二をわし五律と全の五律何種を同  
下し五律と一して五律と全の五律何種を同  
意

辛 上 中 下 上之始

五律の五律何種ありて人の心も上の五律  
の二をわし五律と全の五律何種を同  
意



海抄之要言曰此八分有五人よる  
一、身の上の五律をいふこと此の五律  
と書の上の五律及る言何れを同

意

海抄の要言曰此八分有五人よる  
一、身の上の五律をいふこと此の五律  
と書の上の五律及る言何れを同

意

海抄の要言曰此八分有五人よる  
一、身の上の五律をいふこと此の五律  
と書の上の五律及る言何れを同

意

卒

海抄の要言曰此八分有五人よる  
一、身の上の五律をいふこと此の五律  
と書の上の五律及る言何れを同

意







兼何の程と向

善曰

兼予或曰善若七計案有に人なる  
也い兼承八分の一を以て兼承の  
兼承は兼承の兼承と向

善曰

兼六下二枚有三人なる  
七下二枚有三人なる  
兼下二枚有三人なる  
兼下二枚有三人なる

善曰

兼三下二枚有三人なる  
兼三下二枚有三人なる  
兼三下二枚有三人なる  
兼三下二枚有三人なる



意

津百七十八分あり三人も一馬に於  
て下の五を以て為し五と一とを以て  
以て下としきと二馬三馬を以て  
を以て津何程と問

意

津百七十八分あり三人も一馬に於て  
下の五を以て為し五と一とを以て  
以て下としきと二馬三馬を以て  
を以て津何程と問

津百八十分あり三人も一馬に於  
て下の五を以て為し五と一とを以て  
以て下としきと二馬三馬を以て  
を以て津何程と問

意

津百八十分あり三人も一馬に於  
て下の五を以て為し五と一とを以て  
以て下としきと二馬三馬を以て  
を以て津何程と問



右五部何種と同

高

津根波六の月身は八分の一あり  
二反と二ある五と一あり  
二ある五と一あり  
十九分の十六をにあり五と一あり

高

國流英法書

差を算に

才一  
津九分あり五と一あり  
内刻下より一あり五と一あり  
高より五と一あり

前法

才二  
津百或は沙あり五と一あり  
内刻下より一あり五と一あり



高  
上云跡立背月中云跡也背  
下云跡之形也

才三

注二百一十爻七百有九人少之案  
内或刻下之右云非何種上同

二爻云跡二扣七爻立百目

或云云跡三扣實目

高

三爻云跡或扣實目

比爻云跡二十九爻或百目

才四

注九分二下若者下下或今上上  
下内之刻嘉之右何種上同

上云跡也少下

高

也云跡之分上下也

才五

注之爻六百十八分有上中下二全  
者内之刻本嘉之右何種上同



上之五站八石目  
蒼中二五站五石或五目  
下之五站二石或八分

六  
注抄六分中或和者上中下三人少也  
六中八分二刻畫一由下八之刻畫  
大者五站何種也  
高  
上五站七分中五站四分下  
中五站五分九下或和

七  
亦二站五石九分半八分者比人上  
七五五分或八分刻畫或五分五分  
内或刻畫一之五分五分五分五分  
又各一取分何種也

蒼  
一五取分 一十一石  
二五取分 九石九分  
三五取分 七石九分或八分  
四五取分 五石五分或八分



才八

采三石八計者上下或入もろこ方下ハ  
心或別階又上ノ左非何経と同  
意上ノ五身八年下ノ身采三石

才九

非或里山言或採者首二今より上ハ  
中ハ心或別階中分下ハ心二別階上  
上ノ身採三石在何経と同

上層階七百目

苔中百階八百七和文ハ

下有階之集或百五和目

才十

熱五穀三百五階有九下六層中久し  
玉穀ノ房玉穀ノ同

中ノ玉三百二十六

若 階玉一十四



承二十九石八斗之上下或人の海より八  
外或割申嘉り又之の承何程と同

蒼  
上承一十二石  
下承八石半

承或石。七斗有上下或人のも上六下八  
弁三割坊ノ上の五段何程と同

蒼  
上承九斗  
下承三斗七升

浪或更七百七石八斗の上今方は承  
弁三割申嘉り又之の承何程と同

蒼  
上承三斗八升  
中承九斗五升  
下承八斗

浪或更七百七石八斗の上今方は承



也或刻義、中下八升之刻、增、又、五、  
非、何、能、向

高上、氣、水、背、  
十、五、路、也、括、自

才十五

根、或、更、八、百、九、務、亦、有、以、人、之、也、一、也、  
或、或、外、之、刻、義、或、或、不、之、也、六、升、  
或、刻、中、義、二、也、不、以、也、六、升、刻、  
物、之、本、五、升、何、能、向

卷  
一、也、五、升、八、百、或、刻、亦、  
二、也、五、升、七、百、或、刻、自、  
三、也、五、升、六、百、或、刻、自、  
四、也、五、升、七、百、或、刻、自、

才十六

采、格、亦、不、意、對、八、中、首、文、人、之、也、上、也、  
中、之、也、或、刻、義、中、下、八、升、也、刻、  
之、也、五、升、何、能、向

卷四



才七

非此美言九型... 各在泥河... 刻集

奮

一為... 二為... 三為... 四為...

才十

亦一百... 行... 刻

一為... 二為... 三為... 四為...



海共相示有上三人下五人今之世  
下七人今之世割棄之今之世  
蒼高 上七人今之世  
下七人今之世

非世之有七人今之世  
下七人今之世  
三割坊中五人今之世  
舞之各七人今之世

上七人今之世  
高 中七人今之世  
下七人今之世

非三更六石志和以公下  
以忽有上七人今之世  
上中下二更一更  
下亦小升二割中下  
之割 下り下五







五更文老考價乃指何種と向  
 金六枚西 指二十足  
 高部六枚 指二十足  
 清六枚交 指二十足

津屋上方扱成り有上中下の酒類  
 一と也の存る金で是より一と上酒と  
 七と一とを中酒とを二十と一とを  
 下酒とを又云上酒とを計成り二十

五分中酒と一斗の付法二十を中酒  
 一斗と一斗計成り有る殺及付法  
 何種と向

上酒四枚計  
 高 中酒九枚  
 下酒七枚半

甲乙八日別部を去る申公案延  
 乙西入退く共云甲二日一以十五里



乙二日、以乃十二官、今甲乙道、七札、去、上、  
三百。以里、甲乙、本、步、乃、何、種、上、同、  
奮 甲步乃 羅殺百、去、和、堂、  
乙步乃 羅殺百、四、和、堂、

國流美法車術

差分策五

銀九百、大、粗、月、有、大、麥、小、麥、石、殺、等、  
他、大、麥、之、名、為、斤、或、粗、七、分、小、麥、八、  
分、之、代、三、十、七、分、石、殺、何、種、之、同、  
高 大麥拾壹 代亦記局。家  
小麥拾壹 代亦記局。家



鶏冠三十六共の長教二百二十二有鶏冠  
若何經上同

卷第十二

卷二十五

大豆小豆合三五百二十八倍共計括括  
三百目但大豆之倍代此代亦不盡一倍  
し代之批或分有右倍初何後上同

大豆  
小豆

三百倍  
四百八倍

長教中頭共三百人共持持牙石三倍  
小名但小民共千人小支人持持足狀之人  
二人子ちり之少民數人足何數人上同  
蒼高小民數人 長教二百九人

長教白年合中二批七名有只云思牙之春  
元白年合中三三十一有也此名但長年之石



卷之白象七寸五分  
高 白象一十三寸

三寸半入三寸七分入大小信教金  
若有力批處共石教武百五老大小老信教  
何種之向

蒼高 大百五寸信  
小四百信

甲乙之教武人有甲八日小四百字乙  
日小三百五寸字之寫甲乙乙乙乙乙乙  
七十日又小甲乙教每字數目一甲乙  
字教因教三寸七分向

蒼相傳之字日教四百九十日



甲八日小田百字乙八日小田百字共乃  
日殺七十一百字殺武方六十三百字者  
日殺何種之向

言 甲日殺 二十九日  
乙日殺 五十日

人殺七人仍逃野馬六走之各軍殺軍  
乙極小島小宗三人馬為軍殺及  
步仍軍殺何種之向

言 馬宗軍殺 括武軍  
步仍軍殺 二里

甲乙二人有甲八日又步仍十七里乙八日  
步仍十一里甲乙日別也今甲  
乙より步仍増軍三抄軍甲乙步仍日殺  
何種之向

言 甲乙日殺五日







由天よりて日矣有各及殺何能之向

高 緋七百八十四七五  
編緋三十一丈二五

し一日小百九十二里と云行只云甲不也小  
立て七日甲芒を進ゆより六日小  
進及たり甲一日の傍に何能之向  
一高甲一日の傍に何能之向

酒池合一千五百二十枚は其殺字五百  
六十枚柄方酒池二枚三柄油二枚二柄之  
酒池古何能之向

春日 酒池南二千駄  
他 千 駄

上酒池よりて代換成り中酒池系行は介  
介上酒池よりて代換成り中酒池系行は介



七葉九分ふりりれを同  
高下酒九分

甲外六割乙外一割利りて甲小  
比之更八百目と借せし少味之何程借  
申ての利平均外三割よると同

若高乙元部或より七百目

国流英法市制

五分六

今或れがの法地を二百八拾有是ふ七分  
乃ちと交て移りし少味由に時々  
如利何程と同 元部或より七百目  
高下交るおれ六百



今大中小の算合五百七十九條有此の算  
○五右大は四計二條入中八三計八条入中七  
三計二条入中他大と中と條數等し  
各何條と問

大或百條 右數八十二右  
中百七條 右數五十七右  
小或百條 右數五十七右

新法算  
國子監算術

今天中小の算合二百條者大八五計二条入  
中八五計八条と四計六条入中右數合百  
四十八右或計但大の條數より十條數  
或は條數より十條數何條と問  
高 大百條 中八條條  
小百七條

編物之反條八和方一積之反條八背  
能き反條七和方其の反數合百反



共計法合七策八七抄六八云云法と地と  
互教等一各互教何種と問

意  
編物或地八日  
法地也二抄六日

今大中小の法合或子空在止信有此教  
七右之教也なり但大に計或中入中  
三計八中入中を三計中入也云云大成  
信教を中の信教一信ありて各信教

何種と問

大七右其信 右教音教也  
意中二右其信 右教の二右其信  
小八右其信 右教の二右。八右

今大中小法合て或右抄信有此を教也  
は計有但小を三計中入中ハ三計九中入  
大を三計中入中又云大の信教ハ中の信教  
三右の一あり各信教何種と問



高 大三十億

中九千億  
小九千億

今大中の采合五万二千名此債利一  
或百四十兆債但大は五万二千名中は五  
中は五万二千名大中の債利五  
各債利何れと向

高 大中各百或五を債元  
小一千億

今大中の采合五万二千名此債利一  
或百四十兆債但大は五万二千名中は五  
中は五万二千名大中の債利五  
各債利何れと向

大或百億  
高 中百或十億  
小百億



細結き美武人結き美武人布武美武人  
り共代結三振が共云結清一尺の代は結  
きとの代は結きさるし細き美武人代は  
布き美武人の代は結きさるし右き美武人  
代津何何と向

高 結き美武人代津武人下  
布き美武人代津武人下

系武人系武人所有甲乙組組人数百五  
拾七人より組甲五人より組乙二十人よ  
り組丙甲乙二組の人数系武人組と百

高 甲六振六人 系武人系武人九十六人  
乙九振五人 系武人系武人二十七人四



系武白十甲有甲乙二組共人較二百廿  
七人又乙組於他甲三人又廿七乙廿  
八并乙組甲乙人較乃系河程七官

蒼昌 甲六十六人 系百廿  
乙九十六人 系百廿

系百廿組或或計身休有甲八人小  
女和乙乙女八乙七名而或人乙乙乙乙  
只云甲人較乙乙の人較より九人あり

乙乙人較乙乙乙の人較乙乙乙乙人あり  
有人較乙乙乙乙乙乙乙

甲或或乙人 系或或乙乙乙  
考乙乙乙人 系百廿或乙  
西五乙乙人 系八乙乙乙

系百廿組乙乙乙甲八三人又五乙乙乙乙  
乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙  
人較より九人あり乙乙乙乙乙乙乙乙乙乙



乃六人少一人教及石教何能同  
 甲或抄卷人 年三批卷石  
 蒿乙三批人 年四批或石  
 丙五十六人 年七批或石

國流善法東術  
 卷分第七

海百指卷有上者或刻中或刻出の程  
 如之利法因教の返り市之非何能と同  
 高各利法世分完 上之非六批卷  
 十之非五批卷

才







元部は美沙の部家より千を二割申すは  
二割申す下三割申す一の利をかくて在利  
津河の部より返り各利申す及之部は高

各利申すは高の部

上之部は高の部

高  
中之部は九の部

下之部は高の部

部は美沙の部家より千を二割申すは  
借し上之部申す二割申す下三割申す一の  
利をかくて之利和三人皆同利申す返り  
各元部は及之利の部

之利和九妻九の部

上之部は高の部

中之部は高の部

下之部は高の部

高



上下出入の倍は倍あり上二割下二割の  
の利をわけて上下二割は利は利は利は利は  
わく元銀の五割は利は利は利は利は利は  
何れと云

利は右九百九拾八分下宛

高上元銀三貫三百二十八分

下元銀二貫八百四拾分

上下出入の倍は利は倍は上二割下二割の  
利は利は利は利は利は利は利は利は利は  
利は利は利は利は利は利は利は利は利は  
何れと云

元銀各拾貫令九百有

高上利銀二貫九百有

下利銀二貫二百八拾九分



上中下三人は元利同利の倍も只云上二割半  
の利一ヶ年中二割メ二ヶ年下二割メ  
二ヶ年利は利を加へ三人利は利を二倍  
に算合致れども各元利及利は同利同

元利各七割半也目

上利半也目或は半也目

中利半二割半也目

下利半八十九メ七五七也目

利は元利に倍し上二割半下二割半  
元利各七割半也目

元利は元利に倍し上二割半の利は  
利は元利に倍し上二割半の利は  
元利は元利に倍し上二割半の利は  
元利は元利に倍し上二割半の利は

上中下三人は元利同利の倍も只云上二割半  
の利一ヶ年中二割メ二ヶ年下二割メ  
二ヶ年利は利を加へ三人利は利を二倍  
に算合致れども各元利及利は同利同



各之邦及利非何能之同

元邦名七變而自宛

意上利邦之變也或邦

下利邦之變也或邦

邦之自宛一六借也甲二刻之三刻  
中而之三刻の利と如く甲而二人之利  
和として二人之利和として又云甲と  
西と之利は和として元利和及元利何能

甲 之邦七邦也  
利邦也

意乙 之邦七邦也  
利邦也

丙 之邦七邦也  
利邦也

邦或變也八邦也甲一刻乙二刻  
丙一刻中丁二刻の利と如く甲之邦



しえ部と等し又云西之部とイし之部と  
等し利云甲乙二人元利和と一丙丁  
或人之利和と等し甲乙丙丁各元部  
る利部行の終る向

意  
甲乙之部元利和 甲利六十  
乙利四十  
丙丁之部元利和 丙利八十  
丁利二十

部共や或百八部公有ニ刻半の利利を  
かて二年終り使は但二年月ハ初年の  
元部乙分の二取と二年月ハ初年乃  
元部乙分の二取し皆終る毎年の  
元部乙分の二取し向

意  
初年乙分の二取し 二年乙分  
三年乙分の二取し



注書指本かや或或本の利より利を  
かして二年後一倍も倍も但二年目の初  
の元一倍と五年目と二年目の元  
一倍と元倍後二年半五部何程と同

意四

元部白に扱有上三割下二割五割の利  
下の利部と上上の利部とのさ  
各元部及利部何程と同

元部或元八割七割上中下三人倍を上  
一割中と二割下と三割の利より中  
元部の利をよめ元利和一倍又三下の元利  
の和ハ上三各元部及利部何程と同

意

意  
元部八割目 利部或部  
元部五割目 利部八割







元銀百八拾圓有二年候に借初と  
二割の一年或二割の二年目と一割の利  
行と加へて毎年は利息及ぬ毎  
五割の何程と向

言四毎年二百圓に成りて宛

元銀百圓に成りて二年の利と  
加へ三年候に借し但二年目と初年より  
何れも三年目と二年目の中より

而ては併も毎年は何程と向

初年九月

二年三月

三年九月

元銀百圓に借し何れも二年の利  
下二割の利を加へて中の元利の概上  
元利和一倍又三年の元利和と上の元  
とと等し各元銀の利何程と向



上元報七報分  
利者八下  
高中之即自學之  
利者九下  
下元報六報自  
利者十下







